

# 東日本大震災に関連した 緊急を要する調査・研究課題の 中間報告会

平成25年1月23日(水) 13:00~15:30

お茶の水女子大学 大学本館 生活科学部会議室 103室

本学は、東日本大震災に対する緊急的な支援活動ならびに震災復興に関連した調査・研究について「大学でなければできないこと」という観点から継続的に取り組んで参りました。

この度は、本学研究者により、これまでの復興支援活動や研究成果について報告してもらい、今後、震災復興に対して大学がどのように立ち向かうべきか、何ができるのか、何をしなければいけないのか、といった議論を深めたいと思います。

## 研究報告者

中村 美奈子 (大学院 文化科学系 准教授)

東日本大震災による芸術・文化活動(特に舞踊)への影響ならびにその復興に関する調査

水野 勲 (大学院 人間科学系 教授)

宮城・福島における避難・支援空間に関する地理学的研究

千葉 和義 (大学院 自然・応用科学系 教授)

理科教育復興支援

三輪 建二 (大学院 人間科学系 教授)

大震災後の地域復興と学校外教育・福祉施設が果たす役割

小口 正人 (大学院 自然・応用科学系 教授)

緊急災害時に役立つ情報収集および情報交換を行えるコミュニティ向け情報基盤システムの構築

小林 誠 (大学院 人間科学系 教授)

社会関係資本と公共空間の再構築を通じた被災地の復興とその支援—陸前高田市における住民の被災体験とボランティアからの聞き取りを通じて

森光 康次郎 (大学院 自然・応用科学系 教授)

「野菜のおいしさと生理機能性に関する基礎研究から応用研究」—日本の農食産業の推進、震災時非常食開発、「花育」活動に向けた挑戦的研究及び教育シーズ

松田 雄二 (大学院 自然・応用科学系 准教授)

震災時避難場所としてのお茶の水女子大学の対応シミュレーション

須藤 紀子 (大学院 自然・応用科学系 准教授)

管理栄養士養成課程を有する大学の長所を活かした災害時の食支援のための体制整備に関する実践的研究

古田 悦子 (大学院 自然・応用科学系 講師)

学校教育用「目に見える放射線」教材の開発



## ※参加費・事前申込不要

### 会場へのアクセス

東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅より徒歩7分  
東京メトロ有楽町線「護国寺」駅より徒歩8分  
都営バス「大塚二丁目」停留所下車徒歩1分

### お問い合わせ先

お茶の水女子大学 研究協力・社会連携チーム  
E-mail: kenkyo-TL@cc.ocha.ac.jp

